

応募様式

地方創生に結びついたレファレンス事例

1. レファレンス事例のテーマ（応募名となります。）

テーマ（15 字内） 清澄庭園の成り立ち
副題（字数制限なし） 「紀伊國屋文左衛門・岩崎弥太郎の 2 人の人物を掘り下げ、現在の清澄庭園に至るまでの過程や見所を調査する」

2. 応募者 ※枠の大きさは適宜調整してください。

応募者属性		いずれかに○をしてください。 ☒ 図書館 ☐ 図書館利用者（個人） ☐ 図書館利用者（法人・団体等）
代表者氏名		菅谷 結
所属・職名等		シダックス大新東ヒューマンサービス(株) (江東区立東陽図書館 委託事業者 業務責任者)
連絡先	担当者	
	〒所在地	
	電 話	
	F A X	
	e-mail	

（図書館の蔵書冊数について、平成 30 年 3 月末日の概数を記入してください。）

レファレンスサービスを提供または受けた図書館名と蔵書数	図書館名： 江東区立東陽図書館	蔵書冊数： 約 13 万点
-----------------------------	---------------------------	-------------------------

3. レファレンスサービスを実施した／受けた時期

平成 30 年 4 月頃

4. 公表について

「1. レファレンス事例のテーマ」及び「2. 応募者（連絡先は除く。）」を図書館総合展のホームページ等で公表することに

☒ 同意します

☐ 同意しません

（いずれかに○をしてください。）

※但し、図書館名を公表するには予め自治体許可を取らせて頂きたい、事前に一報願います。

5. 質問の詳細と背景 ※枠の大きさは適宜調整してください。

清澄庭園（きよすみていえん）は、東京都江東区清澄にある都立庭園。池の周囲に築山や名石を配置した回遊式林泉庭園で、東京都指定名勝に指定されている。

庭園の施設整備に関する事業者に、清澄庭園の歴史的背景や植物、名石など庭園内にあるものについての知識を求められた。

清澄庭園は深川図書館に隣接しているが、質問者は移動に便利とのことで東陽図書館に来館された。新聞記事を中心に希望されたため、まず始めにキーワードで記事検索が可能なオンラインデータベースの記事を提示した。その記事内容の補足として、郷土資料等の確認を行い、次回や同様質問あった際に提示できるよう情報収集した。

この地には元禄期の豪商・紀伊國屋文左衛門の屋敷があったと伝えられる。1878年、荒廃していた邸地を三菱財閥創業者の岩崎弥太郎が買い取り、社員の慰安と貴賓を招待する場所として庭園造成を計画。1880年、「深川親睦園」として竣工。その後も工事は進められ、「回遊式林泉庭園」が完成した。

1923年に発生した関東大震災で庭園は大きな被害を受けたが、災害時の避難場所としての役割を果たし、多数の人命を救う。こうした庭園の持つ防災機能を重視し、三菱3代目総帥の岩崎久弥は当時の東京市に庭園の東半分を公園用地として寄付。市は大正記念館の移築など整備を進め、1932年7月24日に清澄庭園として開園した。

1977年には、庭園の西側に隣接する敷地を開放公園（清澄公園）として追加開園した。

紀伊國屋文左衛門・岩崎弥太郎の2人の人物を掘り下げ、現在の清澄庭園に至るまでの過程や見所を調査する。

6. 図書館からの回答内容 ※枠の大きさは適宜調整してください。

【質問】

「清澄庭園の歴史やゆかりのある人物、そこにある植物や名石について知りたい」

【回答】

①清澄庭園の歴史

②ゆかりある人物：「紀伊國屋文左衛門」「岩崎弥太郎」

③庭園内の植物

各項目ごとに以下の資料を確認もしくは提示した。

①清澄庭園の歴史について

『清澄庭園』北村信正著

清澄庭園全般について説明されている。

『江東区の産業、文化・芸術の軌跡』江東区教育委員会、平成 23 年

P. 60 清澄庭園の年表が寛永から平成にかけて掲載されている。

②ゆかりある人物：「紀伊國屋文左衛門」「岩崎弥太郎」について

『紀伊國屋文左衛門の生涯』山木育著

P. 184 元禄 13 年庚辰（1700 年）次男千泉が生まれた年に深川（現在の清澄公園）に別荘「千山亭」を作られた。

『ベスト教科事典社会 3』

P. 97 紀伊國屋文左衛門（紀文）は紀州（いまの和歌山県）から江戸に出て材木屋を開きました。幕府の御用材木商として役人とむすんで富をふやしますが、手をむすんでいた勘定奉行がやめてしまうとたちまちのうちに財産を失ってしまいます。

『紀文』春秋居士 1911 年

紀伊國屋文左衛門の系譜（国会デジタルコレクションでも閲覧可能）

『明治の巨人岩崎弥太郎』砂川幸雄著

岩崎弥太郎が清澄庭園を入手した経緯が p. 15「文化財庭園三つを一举に購入」と記されている。

また p. 251「岩崎家の文化・芸術・学術・福祉」には大正十二年関東大震災後に長男久弥が東京市に当時「深川親睦園」を寄付した旨記されている。

『清澄庭園』北村信正著

P. 15「第二章 岩崎別邸 深川親睦園時代」p. 37「第三章 東京市の寄付」では岩崎家がいかに深く関わっていたかが記されている。

③庭園内の植物について

雑誌『深川』1978年2月号

庭園の中に「富士山」と言われる山があり別名「つつじ山」といい、毎年5月初旬にツツジとサツキが山全体が花で燃えたように色づく。

池には松島・中ノ島・鶴島・富士山がある。

『清澄庭園』パンフレット

庭園内の花ごよみ

1～2月「フクジュソウ」3～4月「ツツジ」5～6月「サツキ」7～8月「サルスベリ」9～10月「彼岸花」11～12月「サザンカ」

『清澄庭園』HP

<http://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index033.html>

開園年月日：昭和7年7月24日

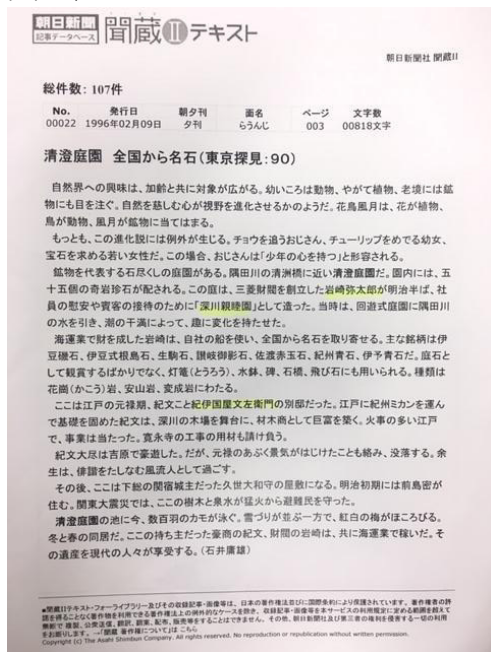
開園面積：庭園 37,434.32 平方メートル、開放公園 43,656.95 平方メートル

主な植物：クロマツ、サクラ、アジサイ、ツツジ類、ハナショウブ

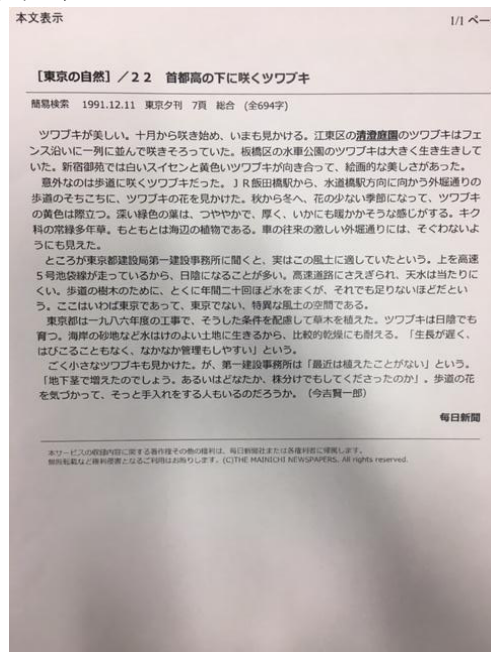
〔オンラインデータベース〕

- ・朝日新聞 1996年2月9日東京夕刊
名石についての記事（写真1）
- ・毎日新聞 1991年12月11日東京夕刊
植物についての記事（写真2）

（写真1）



（写真2）



※次回や同様質問あった際は、深川図書館の郷土資料室所蔵の古文献（館内閲覧資料）についても合わせてご案内をしたい。

7. 今回の応募事例が地方創生に結びついた成果・効果

※枠の大きさは適宜調整してください。

都立の庭園や東京 23 区内にある公園などの施設整備に関する事業者、図書館として情報提供を行うことで、新たな発展を遂げる為の企業側のサポートができた。図書館では郷土資料以外に、国立国会図書館データベースを含むオンラインデータベースも多く備えている。それらを駆使して、より専門的なレファレンスに対応し、ビジネス相談の場としての活用を積極的に提案している。質問者は、新聞記事を希望していたが、レファレンス資料の一部としてオンラインデータベースを提示したことで、大変感動され、満足して帰られた。オンラインデータベースの更なる可能性と活用の普及にも繋がった。江東区が力を注ぐ観光事業のPRの一環として、日頃よりカウンター周辺に清澄庭園のパンフレットを置き、利用者に提供もしている。このレファレンスにより清澄庭園についてより深く知ることができ、今後の利用者サービスにも結びつけていきたい。

8. 今後の課題・展望 ※枠の大きさは適宜調整してください。

将来的には、近隣企業に図書館がビジネス相談に有効であるとの認識を定着させるため、図書館利用のご案内やレファレンスツールなどの積極的な広報をしていくことが課題と考えている。オンラインデータベースについても、幅広いレファレンスに対応できる図書館の新たなツールである。しかし、利用者への普及はまだまだ足りていない。また、豊富な郷土資料を持ちながらも、自館に所蔵のない資料を他から取り寄せる際にはご提供までに時間がかかってしまうため、郷土資料の所蔵状況把握と所蔵館ごとの調整が必要となる。今後の展望としては、ビジネス支援等の講座を開設し、各分野のエキスパートを講師としてお迎えするなど、レファレンスに関しても連携を取って、更なるサービスの強化と発展に寄与していきたいと考えている。そしてレファレンスを受けた利用者のみで完結するのではなく、内容や回答をオープンにすることで、他のビジネスに関する相談を求める利用者にも有益なものにしていきたい。最後に江東区としても観光事業に大変力を入れていることから、当館でも今回のレファレンスをきっかけに、区内の観光地などの知識を深めていきたい。

(注)

- 1 本様式の作成にあたっては、全体で5ページ以内に収めてください。
- 2 本様式とは別に参考資料を添付していただくことも可能ですが、資料のサイズはA4サイズとしてください。
- 3 書類審査を通過した応募書類については、図書館総合展ホームページ等で公表させていただく場合がありますので、本様式の作成にあたっては個人情報の記載等について御留意ください。